



BOSCH

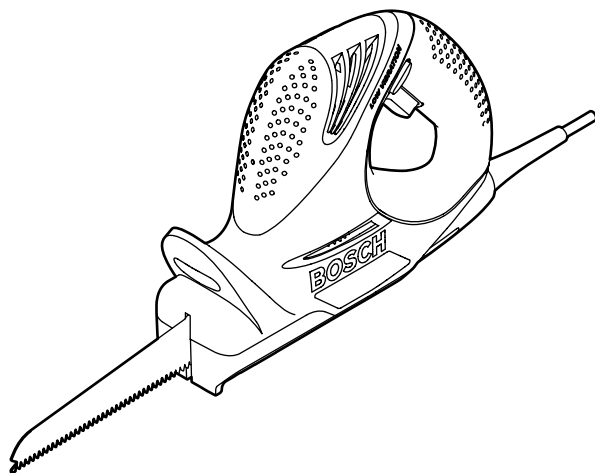
DIY 電動工具

電気のこぎり

PFZ 500E



アース不要
の二重絶縁



取
扱
説
明
書

このたびは、電気のこぎりをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。
わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。

目次

●安全上のご注意	
警告表示の区分	2
電動工具全般についての注意事項	2
電気のごぎりについての注意事項	7
●本製品について	
用途	10
各部の名称	10
仕様	11
標準付属品	11
●使い方	
作業前の準備をする	12
切断する	15
●困ったときは	
故障かな?と思ったら	18
修理を依頼するときは	19
●お手入れと保管	
クリーニング	20
ブレード（のこ刃）のお手入れ	20
保管	21
●付録	
別売アクセサリ	22

ご安全上
注意の

つ本製
い製品
てに

使
い
方

困
った
ときは

保
お
手
入
れ
と
管

付
録

安全上のご注意

- ◆ 火災、感電、けがなど事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』をすべてよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

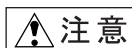
警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。




警告

- ◆ 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



注意

- ◆ 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

電動工具全般についての注意事項

ここでは、電動工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいた電気のごぎりには、当てはまらない項目も含まれています。

警告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

- ◆ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



ご安全
注意の

2. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ◆ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、又はぬれた場所で使用しないでください。
- ◆ 作業場は十分に明るくしてください。
- ◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。



3. 感電に注意してください。

- ◆ 電動工具を使用中、アースされているものに身体を接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)

4. 子供を近づけないでください。

- ◆ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- ◆ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。

5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は錠のかかる所に保管してください。

6. 無理して使用しないでください。

- ◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

7. 作業に合った電動工具を使用してください。

- ◆ 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

8. きちんとした服装で作業してください。

- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。



9. 保護めがねを使用してください。

- ◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉塵の多い作業では、防じんマスクを併用してください。

10. 防音保護具を着用してください。

- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

11. 集塵装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ◆ 電動工具に集塵機などが接続できる場合には、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。

- ◆ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。



13. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。



14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ◆ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。



15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ◆ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◆ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- ◆ 使用しない、又は修理する場合。
- ◆ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ◆ その他危険が予想される場合。



17. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。

- ◆ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。

- ◆ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ◆ プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ◆ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ◆ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。



21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか、十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整及び締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ◆ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。

取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターへ修理を依頼してください。

- ◆ スイッチで始動、及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。



22. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ◆ この取扱説明書、及びボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターにお申しつけください。
- ◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

電気のこぎりについての注意事項

電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、電気のこぎりをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

ご安全上
の注意

警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ◆ 表示を超える電圧で使用すると、速度が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 作業する個所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - ◆ 埋設物があると、ブレード（のこ刃）が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
3. 使用中は、本体を確実に保持してください。
 - ◆ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
4. 使用中は、ブレード（のこ刃）や切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。
 - ◆ けがの原因になります。
5. 誤って落としたり、ぶつけたときは、ブレード（のこ刃）や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ◆ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
6. 使用中は、ブレード（のこ刃）で電源コードを傷つけないように注意し、常に本体の後方に離してご使用ください。
 - ◆ 感電や故障の原因になります。

7. 使用中、本体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。
 - ◆ そのまま使用していると、けがの原因になります。
8. 取扱説明書に記載されている用途、または能力以上の作業に使用しないでください。
 - ◆ 故障の原因になります。



注 意

1. アクセサリーは、ボッシュ純正品をご使用ください。
2. ブレード（のこ刃）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ◆ 確実でないと、外れたりし、けがの原因になります。
3. 使用直後のブレード（のこ刃）は高温になっているので、触れないでください。
 - ◆ やけどの原因になります。
4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
 - ◆ 材料や本体などを落としたときなど、事故の原因になります。
5. 作動させたまま、台や床などに本体を放置しないでください。
 - ◆ 事故の原因になります。
6. 切断中は、「SDSレバー」に触れないでください。
 - ◆ ブレード（のこ刃）が外れたりし、けがの原因になります。

7. ブレード（のこ刃）の交換は、手袋やウエスなどで手を保護してから行ってください。

◆ けがの原因になります。

8. ブレード（のこ刃）は、不用意に触れると危険です。作業時以外でも十分注意してください。

◆ けがの原因になります。

ご
安
全
注
意
の

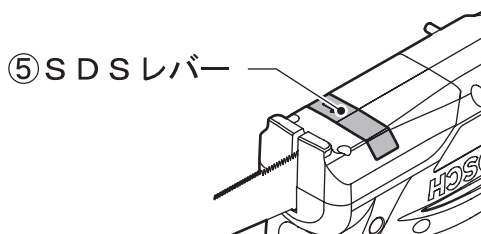
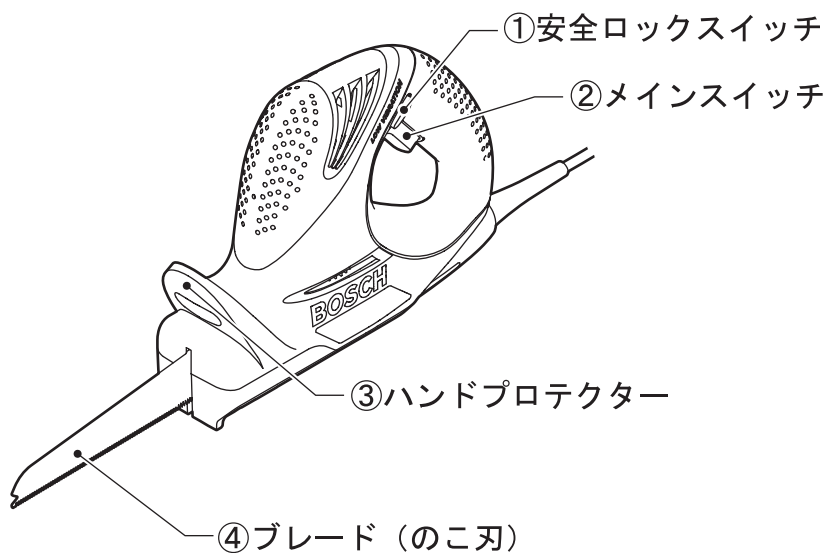
本製品について

用途

- ◆ 木材、生木、釘の入った木材などの切断
- ◆ プラスチック板、塩化ビニールパイプなどの切断
- ◆ 軟鋼板、アルミ板などの切断

※ 本製品は、ご家庭での使用を想定した「D I Y用」製品です。業務(建築作業・電気工事等)で頻繁に使用される場合は、当社「プロ用」セーバーソーのご使用をお薦めします。

各部の名称



(説明のため本体の底面を上向きにしています)

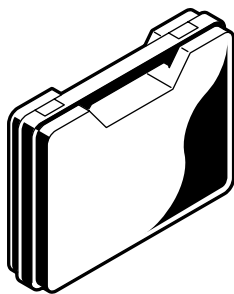
◆このイラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕様

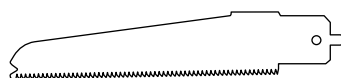
型番	PFZ 500E
電源	単相 AC100 V 50/60 Hz
消費電力	500 W
ストローク数	0~2700 min ⁻¹ (回転/分)
ストローク幅	23 mm
質量	2.0 kg
最大切断能力	
木材	外径 150 mmφ
プラスチックパイプ	外径 150 mmφ
非鉄金属	18 mm厚
鉄・軟鋼板	10 mm厚

本
製
品
に

標準付属品



キャリングケース



ブレード (のこ刃) 2本

◆このイラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

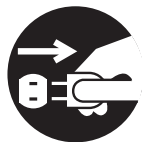
使い方

作業前の準備をする



警告

- ◆ 作業前の準備をするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ 電源コードや電源プラグが損傷しているときは、直ちに使用を中止してください。お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。



使
い
方

● 使用電源を点検する


- 単相 交流 100V (50/60Hz) か？
- コンセント不良（ガタ）のため、電源プラグが簡単に抜けないか？
- 電源コードが断線していたり、電源プラグが破損していたりしていないか？



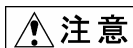
● ブレード（のこ刃）を選ぶ

材料の材質に合ったブレード（のこ刃）を選んでください。

木材・プラスチックの切断…………… 木工用のブレード
軟鋼材などの切断…………… 金工用のブレード

 ブレード（のこ刃）は、ボッシュ純正品をご使用ください。

● ブレード（のこ刃）を取り付ける・取り外す

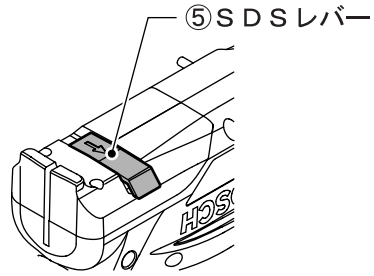


注意

- ◆ 切断直後、ブレード（のこ刃）は高温になっています。やけどを負う恐れがありますので、触れないでください。
- ◆ ブレード（のこ刃）の取り付け・取り外しをするときは、けがの発生を防ぐため、手袋を着用してください。
- ◆ 弊社指定のブレード（のこ刃）を使用してください。
- ◆ ブレード（のこ刃）の取り付け・取り外しをするときは、歯を顔に向けしないでください。

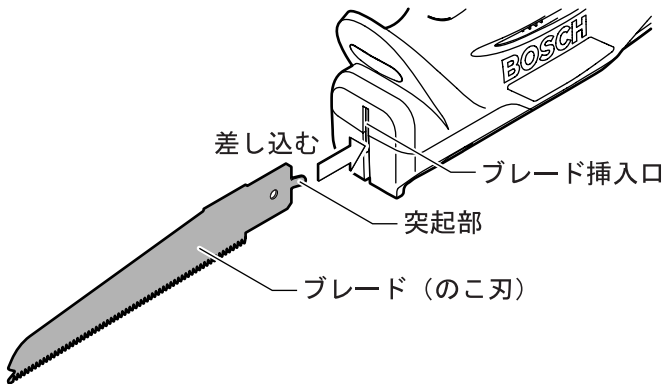
取り付け

1. SDSレバー⑤を矢印の方向にスライドさせて保持します。



(説明のため本体の底面を上向きにしています)

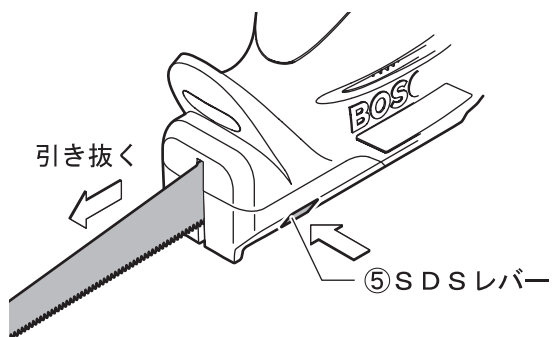
2. 本体のブレード挿入口にブレード(のこ刃)を図の向きで挿入します。ブレード挿入口の上部に、ブレード(のこ刃)が触れるようにして奥まで差し込みます。



3. SDSレバー⑤を離します。
4. ブレード(のこ刃)が確実に取り付けられているか、ブレード(のこ刃)を引いて確認します。抜けなければ、取り付け完了です。

取り外し

1. SDSレバー⑤を矢印の方向にスライドさせて保持します。
2. ブレード（のこ刃）を引き抜きます。
3. SDSレバー⑤を離します。



切断する



警告

◆ 材料をしっかり固定してから作業を行ってください。

1 ブレード（のこ刃）を点検する

- ブレード（のこ刃）はボッシュ純正品か？
- ブレード（のこ刃）は曲っていないか？
- ブレード（のこ刃）の歯先が欠けていたり、摩耗したりしていないか？

2 電源プラグを電源コンセントに差し込む



警告

◆ 「メインスイッチ②」が押し込まれていないことを確認してから、電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。

使
い
方

3 「安全ロックスイッチ①」を左右どちらかに押し込む （ロック解除）

「安全ロックスイッチ①」は、左右どちらにも押し込むことができます。左右どちらかに押し込んで「メインスイッチ②」のロックを解除しないと、「メインスイッチ②」を引き込むことができません。

4 「メインスイッチ②」を操作する

スイッチのON/OFF

スイッチのON : 「メインスイッチ②」を引き込みます。

スイッチのOFF : 「メインスイッチ②」から指を離します。

ストローク数（回転スピード）の調節

「メインスイッチ②」を引き込む加減で、ストローク数（回転スピード）が調節できます。

ストローク数を調節することにより、材料により適した切断が可能になります。

5 切断する



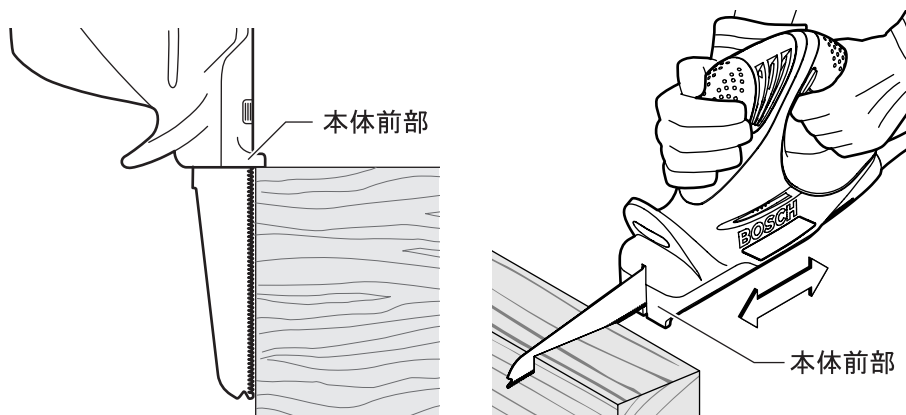
警告

- ◆ ポケット切断（中抜き切断）は行わないでください。
- ◆ 使用中は、電気のごぎり本体を確実に保持してください。
- ◆ 作業中は、ブレード（のこ刃）で電源コードを傷つけないように注意し、常に電気のごぎり本体の後方に離してください。

「メインスイッチ②」を“ON”にして、回転が十分に上がってから切断を始めてください。

切り始めは、ブレード（のこ刃）をゆっくり材料に押し付けてください。

- ☞ 切断中は、本体前部を材料にしっかり押し付けてください。
- ☞ 厚さ 20mm 以上の材料を切断するときは、電気のごぎり本体を手動のごぎりのように前後に動かすと、より速く切断できます。

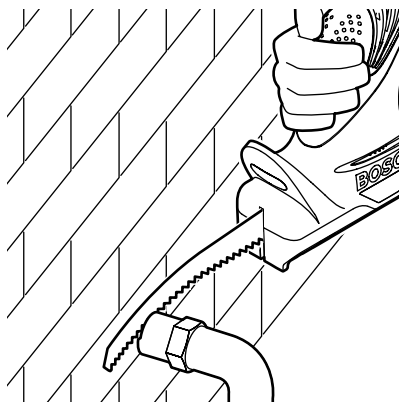


- ☞ 金属を切断する場合、切削オイルスプレー（ボッシュ純正）を使用すると、スムーズで速い切断作業ができるとともに、ブレード（のこ刃）の寿命が延びます。
- ☞ 切断の途中で作業を中断する場合は、「メインスイッチ②」を切り、回転が完全に止まってからブレード（のこ刃）を引き抜いてください。
- ☞ 切断中にブレード（のこ刃）が材料に噛み込んだりした場合は、直ちに「メインスイッチ②」を切り、切断箇所を広げるようにして、材料からブレード（のこ刃）を引き抜いてください。

つら 面いち切断

柔軟性のあるブレード（のこ刃）を使用すると、切断面を面いちにする（壁面と材料の切断面をそろえる）ことができます。

- ☞ ブレード（のこ刃）と壁面が平行になるように、横方向に力を加え、ブレード（のこ刃）が曲った状態で切断します。



使
い
方

6 切断を終了する

「メインスイッチ②」から指を離します。

- ☞ ブレード（のこ刃）の動きが完全に止まるまで、本体を床やテーブルなどに置かないでください。
- ☞ 「メインスイッチ②」を切ったあと、ブレード（のこ刃）の動きを無理に止めるようなことはしないでください。
また、手で押さえるようなことは絶対にしないでください。

困ったときは

故障かな？と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症 状	原 因	対 処
「メインスイッチ②」を押し込んででも作動しない	電源プラグが電源コンセントに差し込まれていない	電源プラグを電源コンセントに確実に差し込む
	電源ケーブルが破断している	修理を依頼する
	カーボンブラシ*が消耗している	修理を依頼する
	内部パーツの不良	修理を依頼する
作動したまま止まらない	内部パーツの不良	修理を依頼する
切断スピードが遅い	「メインスイッチ②」の引き込み具合が弱い	「メインスイッチ②」をいっぱい引き込む
	ブレード（のこ刃）が磨耗している	ブレード（のこ刃）を交換する
	使用電源の電圧が低い	100Vの電源を使う

*カーボンブラシは、本体内部の消耗品です。

修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーダイヤルまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。

コールセンターフリーダイヤル ☎ 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00~午後6:00

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。
コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ電動工具サービスセンター北海道

〒003-0873 北海道札幌市白石区米里3条2-6-33
TEL 011-875-2388 FAX 011-879-2138

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107 埼玉県大里郡江南町大字千代字東原39
TEL 048-536-7171 FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡親宮町の野741-1
TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

困ったときは

お手入れと保管



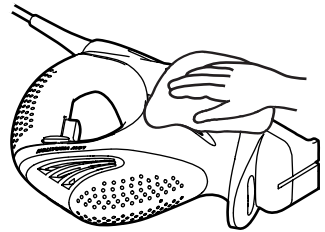
警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、ブレード（のこ刃）を電気のこぎり本体から取り外し、電源プラグを電源コンセントから抜いてお手入れをしてください。



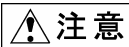
クリーニング

- 通風口やブレード（のこ刃）取り付け部などに付いたゴミ、ホコリを取り除く
- 乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る



☞ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。

ブレード（のこ刃）のお手入れ



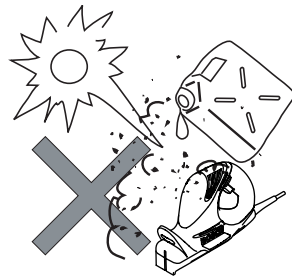
注意

- ◆ ブレード（のこ刃）は、歯先が触れないように注意して扱ってください。けがの発生を防ぐため、手袋を着用してください。

- ブレード（のこ刃）に付着した切り粉、ホコリを取り除く

● 電気のこぎりを使った後は、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。



付 録

別売アクセサリ

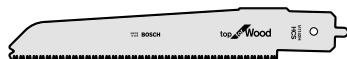
(2007年1月現在)

● ブレード (のこ刃)

top **for** Wood

用途：木材・プラスチック等の切断

材質：ハイス



PROGRESSOR **for** Wood **of** Metal

用途：木材・プラスチック等の切断

(釘入り木材切断可能)

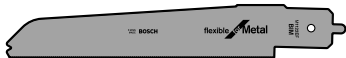
材質：バイメタル



flexible **for** Metal

用途：軟鋼材・アルミ板等の切断

材質：バイメタル



flexible **for** Metal

用途：軟鋼材・アルミ板等の切断

(面いち切断可能)

材質：バイメタル



- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。



BOSCH

ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ： <http://www.bosch.co.jp>

〒150-8360 東京都渋谷区渋谷3-6-7

コールセンターフリーダイヤル

 **0120-345-762**

(土・日・祝日を除く、午前9:00～午後6:00)

*携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーダイヤル
のご利用はできませんのでご了承ください。